



令和2年度 秋の叙勲

令和2年度、秋の叙勲で玉置保夫氏が旭日双光章〈文化財保護功労〉受章の榮譽に輝かれました。心よりお祝い申し上げます。

旭日双光章 (文化財保護功労)

岐阜県重要無形文化財(織部)保持者
多治見市無形文化財(織部)保持者
(公社)日本工芸会正会員
(公社)日本工芸会東海支部参与
(公社)美濃陶芸協会顧問

玉置 保夫氏 (79) (多治見市市之倉町)

この度、栄えある旭日双光章を受章されました玉置保夫氏を市之倉の玉山窯にお尋ねしました。

先ず「玉山窯」の言われをお伺いしたところ、名字の「玉」に当時の窯元は「山」をつけるのが流行っていたから「玉山窯」(130年～140年程前)と名前が付いた、と説明してくださいました。

もともとグラフィックデザイナーを目指していたが、織部の名品に出会い陶芸の道に進まれました。

あえて形式にとらわれず、赤とか黄色とかの釉薬や土を大胆に使い新しいデザインを取り込んだ現代的な織部を「今織部」と称し、パテントを取得されています。

業界の活性について伺いますと、この地域独特の良質な材料(土・石)が後々まで生かされた焼き物が多くの人に好かれていけば良いと感じますとの事。

座右の銘は「守拙・求真」(拙を守り真を求む)。

何事も新しく始めるときは「基礎」をしっかり身に着ける事が大事であり、それができていないと一時で終わってしまう。

これまでに多くの若者が玉山窯から育ち、今も2人の若者が先生の意思を引継ぎ、毎日作陶に励まれています。

忙しい毎日のなか、友人に誘われ、たまに行くゴルフがストレス解消に繋がるそうです。

未だにもっと“佳い物”を作りたいという意欲は全く衰えず、これからも泥んこになりながら作陶する「泥土行脚」を続けていく、と熱く語られました。

ご夫婦揃ってお見送りいただいた姿にお二人の仲の良さを感じつつ、「玉山窯」をあとにしました。



永年の功績に対し深く敬意を表し、ますますのご活躍とご健康をお祈り申し上げます。